

総合指数 2年連続の上昇

～平成27年福岡市消費者物価指数～

今月号の特集は、総務省統計局が公表している消費者物価指数について、福岡市の平成27年の結果を紹介します。

消費者物価指数とは、全国の世帯が購入する各種の財・サービスの価格の平均的な変動を測定するものです。ある時点(基準年)の世帯の消費構造を基準に、これと同等のものを購入した場合に必要な費用がどのように変動したかを、基準年の物価を100として、指数値で表しています。

基準年は5年ごとに改定され、現在は平成22年です。

なお、消費者物価指数は消費税分を含めた消費者が実際に支払う価格を用いて作成されており、結果には平成26年4月に消費税率が5%から8%に改定された影響が含まれています。

1. 概況

福岡市の平成27年平均の消費者物価指数は、総合は103.9で前年比2.0%の上昇となり、全国の総合は103.6で前年比0.8%の上昇となっています。福岡市の総合指数は、2年連続の上昇となりました。

「食料」「住居」等の10大費目別を見ると、指数が最も高いのは「光熱・水道」の112.8で、次いで「諸雑費」の109.1となっています。指数が最も低いのは「家具・家事用品」の91.0で、次に「教養娯楽」の98.1となっています。(表1、図1)

2. 中分類別指数の動き

①食料 前年と比べ、「野菜・海藻」が11.4%上昇、「肉類」が9.7%上昇し、全体で5.9%の上昇となっています。

図1 消費者物価指数(総合)の推移

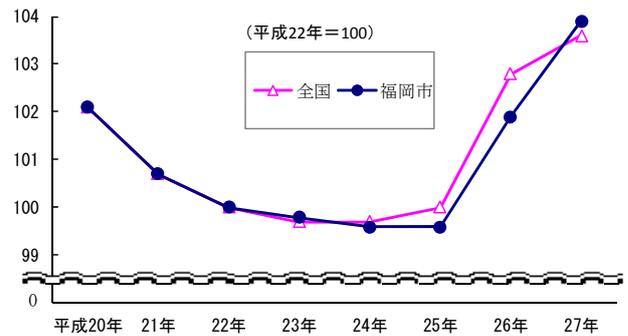


表1 消費者物価指数(10大費目)の推移

(平成22年=100)

年	総合	生鮮食品 を除く 総合	食料	住居	光熱・ 水道	家具・ 家事用品	被服及 び履物	保健医療	交通・ 通信	教育	教養娯楽	諸雑費
平成23年	99.8	99.8	99.6	101.1	102.0	90.8	97.4	99.2	101.4	98.5	96.7	103.5
24年	99.6	99.8	99.4	100.6	104.9	89.2	97.8	97.5	101.8	99.0	95.7	103.6
25年	99.6	99.9	98.8	98.8	108.7	88.9	98.7	97.3	103.3	99.4	94.3	104.8
26年	101.9	102.0	102.7	98.1	114.3	89.9	101.5	98.7	106.0	100.8	96.7	108.1
27年	103.9	103.6	108.8	98.7	112.8	91.0	107.2	99.5	104.8	101.3	98.1	109.1
〃(全国)	103.6	103.2	106.6	99.1	116.2	94.5	104.5	99.9	103.6	102.3	98.9	109.7
前 年 比 (%)												
平成23年	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.4	1.1	2.0	△ 9.2	△ 2.6	△ 0.8	1.4	△ 1.5	△ 3.3	3.5
24年	△ 0.2	0.0	△ 0.2	△ 0.5	2.8	△ 1.8	0.4	△ 1.7	0.4	0.5	△ 1.0	0.1
25年	0.0	0.1	△ 0.6	△ 1.8	3.6	△ 0.3	0.9	△ 0.2	1.5	0.4	△ 1.5	1.2
26年	2.3	2.1	3.9	△ 0.7	5.2	1.1	2.8	1.4	2.6	1.4	2.5	3.1
27年	2.0	1.6	5.9	0.6	△ 1.3	1.2	5.6	0.8	△ 1.1	0.5	1.4	0.9
〃(全国)	0.8	0.5	3.1	0.0	△ 2.6	1.5	2.3	0.9	△ 1.9	1.7	2.0	1.0

注) 年平均

- ②住居 「設備修繕・維持」が7.6%上昇、ウエイトの大きい家賃が0.3%上昇し、全体で0.6%の上昇となっています。
- ③光熱・水道 「ガス代」が2.8%下落、「他の光熱」が18.0%下落し、全体で1.3%の下落となっています。
- ④家具・家事用品 「寝具類」が6.8%上昇、ウエイトの大きい「家庭用耐久財」（電気冷蔵庫、ルームエアコン等）が1.0%上昇し、全体で1.2%の上昇となっています。
- ⑤被服及び履物 「履物類」が27.6%上昇し、全体は5.6%の上昇となっています。
- ⑥保健医療 ウエイトの大きい「保健医療サービス」が0.7%上昇、「保健医療用品・器具」（生理用ナプキン、眼鏡等）

が1.7%上昇し、全体で0.8%の上昇となっています。

- ⑦交通・通信 ウエイトの大きい「自動車等関係費」が3.4%下落し、全体は1.1%の下落となっています。
- ⑧教育 ウエイトの大きい「授業料等」が1.1%上昇し、全体で0.5%の上昇となっています。
- ⑨教養娯楽 ウエイトの大きい「教養娯楽サービス」（宿泊料・月謝類等）が1.9%上昇し、全体は1.4%の上昇となっています。
- ⑩諸雑費 「身の回り用品」（かばん類、腕時計・指輪等）が6.1%上昇し、全体で0.9%の上昇となっています。（表2）

表2 中分類別指数

(平成22年=100)

分類	ウエイト	平成26年	27年	前年比(%)	分類	ウエイト	平成26年	27年	前年比(%)
総	10 000	101.9	103.9	2.0	被服関連サービス	25	97.7	100.1	2.5
食	2 479	102.7	108.8	5.9	保健医療	466	98.7	99.5	0.8
穀類	211	103.4	105.6	2.1	医薬品・健康保持用摂取品	140	94.6	94.8	0.2
魚介類	205	104.5	112.4	7.6	保健医療用品・器具	91	99.8	101.5	1.7
肉類	218	99.4	109.0	9.7	保健医療サービス	235	100.8	101.5	0.7
乳卵類	101	108.5	113.1	4.2	交通・通信	1 404	106.0	104.8	△1.1
野菜・海藻類	267	97.0	108.1	11.4	交通	262	107.1	110.1	2.8
果物	80	97.6	112.3	15.1	自動車等関係費	753	107.8	104.1	△3.4
油脂・調味料	107	102.3	106.2	3.8	通信	388	101.9	102.7	0.8
菓子類	216	103.0	111.9	8.6	教育	367	100.8	101.3	0.5
調理食品	242	108.7	117.1	7.7	授業料等	260	99.8	100.9	1.1
飲料	127	97.9	101.1	3.3	教科書・学習参考教材	6	108.3	110.0	1.6
酒類	134	97.1	97.7	0.6	補習教育	100	102.9	101.8	△1.1
外食	571	105.0	107.8	2.7	教養娯楽	1 053	96.7	98.1	1.4
住居	2 042	98.1	98.7	0.6	教養娯楽用耐久財	117	64.8	65.8	1.5
家賃	1 955	98.0	98.3	0.3	教養娯楽用品	193	103.7	103.5	△0.2
設備修繕・維持	87	99.6	107.2	7.6	書籍・他の印刷物	129	103.4	104.8	1.4
光熱・水道	666	114.3	112.8	△1.3	教養娯楽サービス	613	99.2	101.1	1.9
電気代	277	120.5	120.0	△0.4	諸雑費	687	108.1	109.1	0.9
ガス代	212	114.0	110.8	△2.8	理美容サービス	125	103.0	103.9	0.9
他の光熱	14	139.1	114.0	△18.0	理美容用品	144	100.8	100.3	△0.5
上下水道料	163	101.9	102.9	1.0	身の回り用品	90	105.6	112.0	6.1
家具・家事用品	394	89.9	91.0	1.2	たばこ	64	130.3	131.6	1.0
家庭用耐久財	170	81.0	81.8	1.0	他の諸雑費	265	109.9	110.0	0.1
室内装備品	29	83.2	84.4	1.4	生鮮食品	374	98.1	110.0	12.1
寝具類	24	88.6	94.6	6.8	生鮮食品を除く総合	9 626	102.0	103.6	1.6
家事雑貨	74	101.8	102.1	0.3	持家の帰属家賃を除く総合	8 767	102.3	104.5	2.2
家事用消耗品	80	97.1	97.9	0.8	持家の帰属家賃及び生鮮食品を除く総合	8 392	102.5	104.2	1.7
家事サービス	16	106.8	108.9	2.0	エネルギー	686	119.2	112.0	△6.0
被服及び履物	444	101.5	107.2	5.6	食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合	6 970	99.8	101.2	1.4
衣料	202	103.4	105.9	2.4	教育関係費	427	101.3	102.4	1.1
シャツ・セーター・下着類	124	102.4	103.5	1.1	教養娯楽関係費	1 180	97.4	98.9	1.5
履物類	59	100.8	128.6	27.6	情報通信関係費	497	99.4	99.4	0.0
他の被服類	33	91.1	95.2	4.5					

3. 年間の動き

消費者物価指数の年間の動きを見ると、総合指数は9月の104.7が最も高く、1月の102.7が最も低くなっています。

10大費目別にみますと、「食料」は1月から3月が低く、4月以降上昇し、9月にピークとなっています。

「光熱・水道」は、1月から5月まで上昇傾向で、5月をピークに12月まで緩やかに下落しています。

「被服及び履物」は、冬と夏に谷となる傾向があります。

「住居」では4月が最も低くなり、「家具・家事用品」では2月が最も低くなり、3月が最も高くなっています。

(表3, 図2)

4. 大都市の状況

20大都市(数値が公表されていない相模原市を除く政令指定都市及び東京都区部)の消費者物価指数を見ると、総合指数が最も高いのはさいたま市の104.6で、最も低いのは東京都区部の102.1となっており、福岡市は103.9で6番目に高い数値となっています。

また、前年比では、福岡市が2.0%の上昇と最も高く、札幌市, 新潟市の0.6%が最も低い数値となっています。(表4)

* * * *

消費者物価指数の詳細は、総務省統計局のホームページでご覧になれます。

<http://www.stat.go.jp/>

図2 消費者物価指数(10大費目)の月別推移

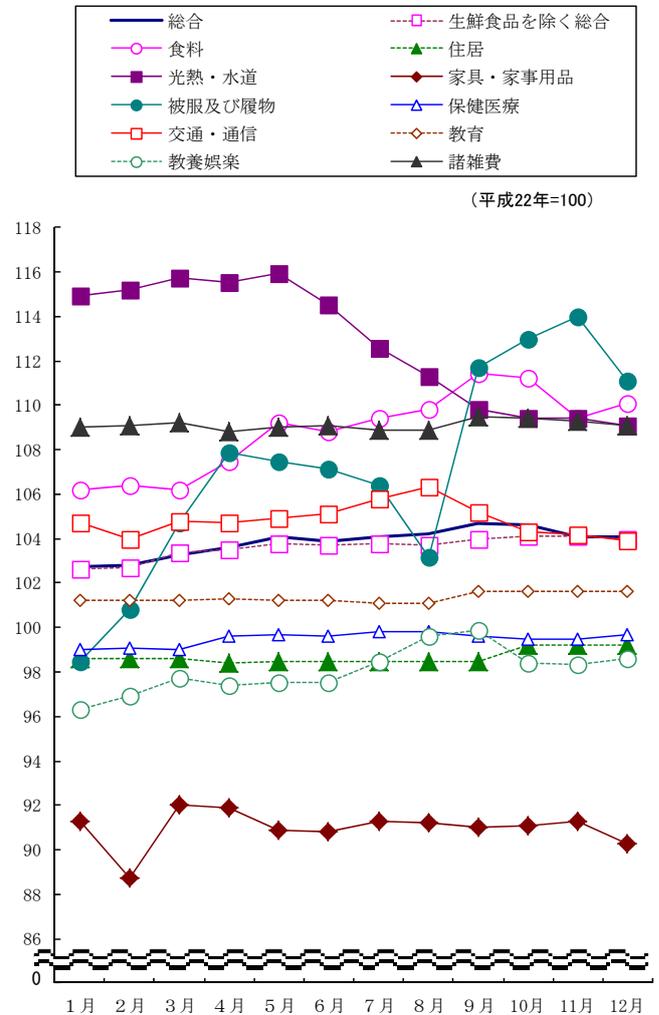


表3 消費者物価指数(10大費目)の月別推移

平成27年		平成22年=100											
分類		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総	合	102.7	102.8	103.3	103.6	104.1	103.9	104.1	104.2	104.7	104.6	104.1	104.1
	生鮮食品を除く総合	102.6	102.7	103.4	103.5	103.8	103.7	103.8	103.7	104.0	104.1	104.1	104.0
	食料	106.2	106.4	106.2	107.5	109.2	108.8	109.4	109.8	111.4	111.2	109.4	110.1
	住居	98.6	98.6	98.6	98.4	98.5	98.5	98.5	98.5	98.5	99.2	99.2	99.2
	光熱・水道	114.9	115.2	115.7	115.5	115.9	114.5	112.6	111.3	109.8	109.4	109.4	109.1
	家具・家事用品	91.3	88.7	92.0	91.9	90.9	90.8	91.3	91.2	91.0	91.1	91.3	90.3
	被服及び履物	98.5	100.8	104.7	107.9	107.5	107.1	106.4	103.2	111.7	113.0	114.0	111.1
	保健医療	99.0	99.1	99.0	99.6	99.7	99.6	99.8	99.8	99.6	99.5	99.5	99.7
	交通・通信	104.7	104.0	104.8	104.7	104.9	105.1	105.8	106.3	105.2	104.3	104.2	103.9
	教育	101.2	101.2	101.2	101.3	101.2	101.2	101.1	101.1	101.6	101.6	101.6	101.6
	教養娯楽	96.3	96.9	97.7	97.4	97.5	97.5	98.5	99.6	99.9	98.4	98.3	98.6
	諸雑費	109.0	109.1	109.2	108.8	109.0	109.1	108.9	108.9	109.5	109.4	109.3	109.1

表4 大都市の消費者物価指数（10大費目）

平成27年

(平成22年=100)

都市	総合	生鮮食品 を 除く 総合	食料	住居	光熱・ 水道	家具・ 家事 用品	被服及 び履物	保健 医療	交通・ 通信	教育	教養 娯楽	諸雑費
全 国	103.6	103.2	106.6	99.1	116.2	94.5	104.5	99.9	103.6	102.3	98.9	109.7
札幌市	104.4	103.8	109.1	98.6	113.6	96.0	103.0	100.2	103.0	102.3	101.7	112.3
仙台市	103.4	103.0	106.3	99.4	114.4	89.4	104.3	99.2	102.8	100.3	98.8	112.3
さいたま市	104.6	104.3	107.1	99.9	120.2	93.2	109.3	100.2	104.2	102.3	101.3	108.5
千葉市	103.4	103.0	106.1	97.8	119.0	93.2	108.0	100.7	103.6	104.8	99.8	109.1
東京都区部	102.1	101.9	104.1	97.9	118.5	90.0	102.5	100.5	102.8	104.0	98.6	108.3
川崎市	102.9	102.7	105.4	98.2	118.7	88.0	107.5	98.9	103.3	102.7	100.3	107.9
横浜市	103.1	102.7	105.6	97.8	118.4	92.3	109.3	100.3	102.6	102.5	101.3	109.1
新潟市	103.4	103.0	107.8	98.2	113.9	99.9	107.9	96.9	102.7	99.3	95.2	108.6
静岡市	104.1	103.6	108.4	98.2	114.3	104.8	105.6	100.5	103.4	105.7	97.4	108.5
浜松市	103.3	103.1	106.6	96.2	116.1	99.3	103.8	100.8	103.8	103.5	98.4	109.5
名古屋市	103.5	103.0	106.9	98.8	115.3	98.1	102.2	100.0	103.6	102.1	98.4	109.5
京都市	104.3	103.9	106.4	100.4	119.0	93.3	105.4	100.7	103.4	101.7	100.9	110.1
大阪市	103.3	103.1	104.8	99.8	119.1	90.2	102.5	99.6	102.3	101.1	98.6	110.4
堺市	103.2	102.9	105.6	100.1	117.1	82.8	105.8	100.1	103.4	99.7	98.7	110.6
神戸市	103.3	103.0	103.4	101.5	117.9	102.7	103.1	99.5	101.5	102.4	99.6	108.9
岡山市	103.3	102.8	108.0	99.9	110.4	94.3	105.4	98.9	103.5	100.8	97.7	107.1
広島市	103.7	103.2	108.9	99.3	110.9	95.2	105.4	100.9	102.5	99.2	98.1	109.4
北九州市	104.1	103.8	106.8	100.8	113.6	98.2	108.1	100.2	104.1	100.6	96.8	109.6
福岡市	103.9	103.6	108.8	98.7	112.8	91.0	107.2	99.5	104.8	101.3	98.1	109.1
熊本市	102.9	102.6	105.5	99.2	113.4	89.8	99.7	102.1	103.6	103.1	97.6	109.2
前 年 比 (%)												
全 国	0.8	0.5	3.1	0.0	△2.6	1.5	2.3	0.9	△1.9	1.7	2.0	1.0
札幌市	0.6	0.2	3.5	0.0	△4.4	△0.9	1.9	1.0	△1.8	1.7	1.9	0.5
仙台市	0.9	0.6	3.2	0.1	△3.9	3.4	3.3	0.7	△2.1	1.2	2.2	1.8
さいたま市	0.9	0.7	2.7	0.1	△2.0	1.7	2.1	0.9	△0.9	1.9	1.2	1.3
千葉市	1.1	0.8	3.4	△0.1	△2.7	0.0	6.3	1.0	△1.7	1.7	2.0	0.6
東京都区部	0.7	0.6	2.6	△0.2	△2.6	0.4	0.9	1.3	△0.5	1.2	1.9	1.1
川崎市	0.8	0.6	3.0	△0.3	△2.5	△3.9	1.4	1.2	△0.3	0.7	2.5	0.2
横浜市	0.9	0.6	2.7	△0.2	△2.5	0.0	2.9	1.2	△0.7	1.2	2.6	1.1
新潟市	0.6	0.3	3.1	0.0	△2.6	0.7	3.0	0.8	△2.9	0.7	2.6	0.9
静岡市	0.9	0.5	3.0	△1.4	△1.0	3.0	2.3	1.4	△1.6	2.0	2.1	0.9
浜松市	0.8	0.6	2.9	0.0	△1.6	2.1	1.0	0.9	△2.2	3.3	1.7	1.1
名古屋市	0.9	0.7	2.8	△0.4	△1.3	3.0	2.4	0.6	△1.2	1.1	1.3	1.3
京都市	0.8	0.6	2.1	0.1	△1.3	0.5	1.3	1.1	△1.1	1.1	1.7	1.2
大阪市	1.1	0.9	2.3	0.1	△0.9	1.2	1.6	1.3	△0.7	1.3	2.1	1.1
堺市	0.8	0.6	2.5	△0.4	△0.7	0.1	2.9	1.1	△1.7	1.7	2.0	0.9
神戸市	1.0	0.7	2.7	0.0	△1.0	1.5	1.0	1.2	△1.0	0.7	1.8	1.2
岡山市	0.7	0.4	2.1	0.1	△1.5	0.4	2.9	0.3	△1.6	1.1	2.2	1.3
広島市	1.5	1.2	4.7	0.3	△1.6	1.2	1.9	1.2	△1.5	1.1	2.5	0.9
北九州市	1.4	1.1	3.8	1.0	△1.8	1.7	3.4	1.0	△1.7	1.0	1.4	1.3
福岡市	2.0	1.6	5.9	0.6	△1.3	1.2	5.6	0.8	△1.1	0.5	1.4	0.9
熊本市	0.9	0.8	3.6	0.0	△1.3	3.0	2.2	0.9	△2.2	2.7	0.1	0.6